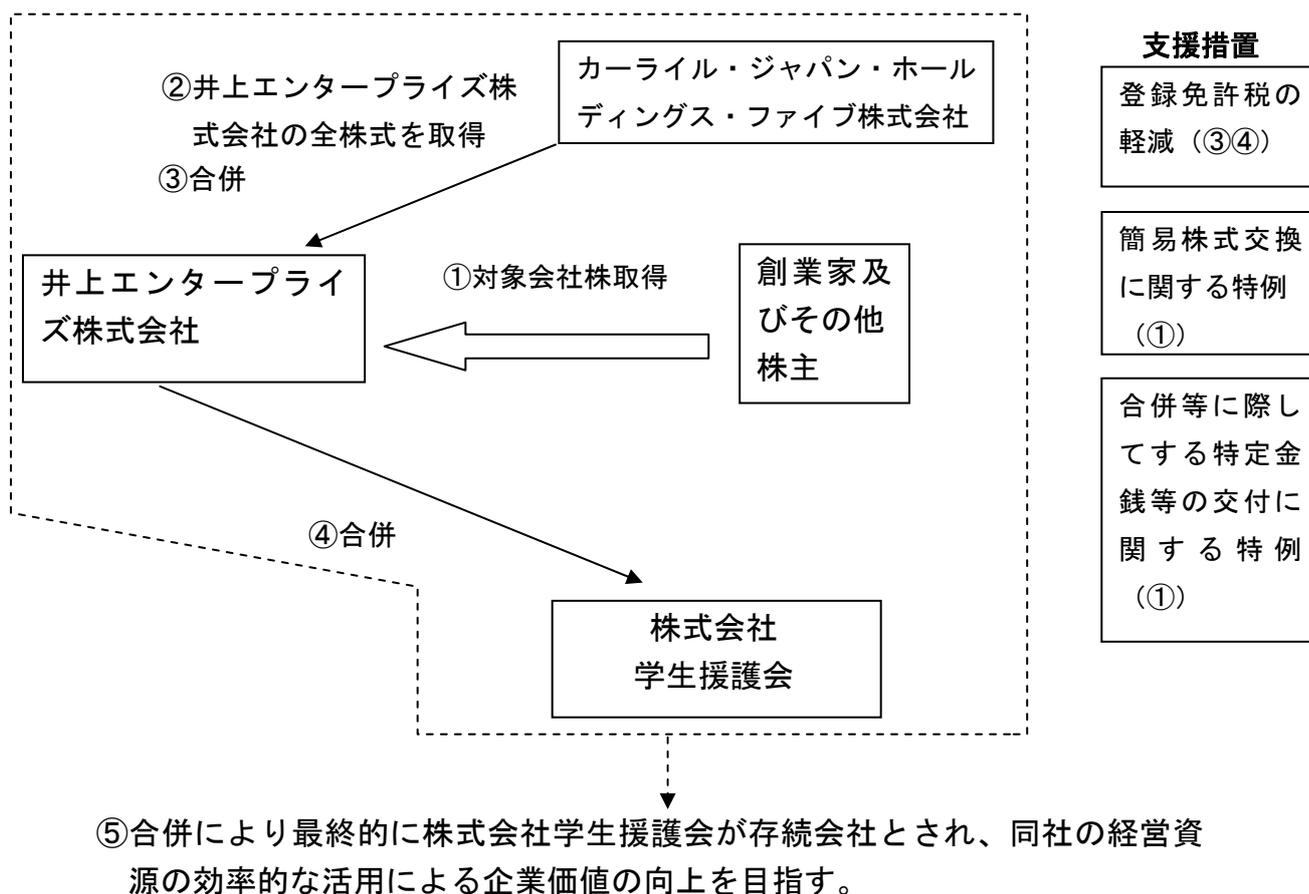


## カーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社及び井上エンタープライズ株式会社の産業活力再生特別措置法に基づく経営資源再活用計画のポイント

本経営資源再活用計画は、申請者であるカーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社が、井上エンタープライズ株式会社を通じて株式会社学生援護会の全株式を取得し、同社の経営資源の効率的な活用による企業価値の向上を目指すものである。



### 【生産性の向上】

- ・総資産減価償却前営業利益率を8.4%向上

### 【財務内容の健全性】

- ・有利子負債／キャッシュフロー 10倍以下
- ・経常収支比率 100%以上

### 【事業革新】

- ・新商品・サービスを立ち上げ、当該商品の広告売上を向上させ、全売上高の3.3%とすることを目標とする。

### 【従業員の推移】

- ・150人→159人
- ・解雇の予定はない。

### 【計画の実施期間】

平成17年9月～平成20年3月

## 様式第二十一

### 認定経営資源再活用計画の内容の公表

1. 認定した年月日 平成17年9月26日

2. 認定事業者名

カーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社  
井上エンタープライズ株式会社

3. 経営資源再活用の目標

(1) 経営資源再活用に係る事業の目標

カーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社（以下「C J H 5」）は、井上エンタープライズ株式会社（以下「I E社」）を通じて株式会社学生援護会（以下「学生援護会」）の全株式を取得し、同社の経営資源の効率的な活用による企業価値の向上を目指すこととした。

学生援護会グループは、企業の求人ニーズを求人広告の形で集め、それを雑誌やインターネット等の媒体を通じて潜在的な労働者に提供するという雇用情報ビジネスを主たる業務としている。しかし、学生援護会グループが展開する雇用情報ビジネスの事業環境は、茲許の求人・求職者の生活環境の変化に伴い、有代誌からフリーペーパー、モバイル、webへと急速にシフトしており、この急速な事業環境の変化に対応し、さらなる事業拡大を図り、日本に於ける総合雇用情報提供者として確固たる地位を確立するには、経営基盤の強化と迅速な意思決定体制の整備が不可欠となっている。

そこで、今般、将来的な株式上場を視野に、雇用情報事業との関連性の薄い事業の売却及び組織再編を含めたグループ戦略により、「選択と集中」を実践し、迅速な意思決定を実現する体制を整備するとともに、顧客ニーズに適応した効果的な営業戦略を採用することで高収益を安定的に確保できる企業体制を目指す。

(2) 生産性の向上を示す数値目標

平成19年度には平成16年度に比べて、総資産減価償却費前営業利益率を8.4%向上させることを目標とする。

4. 経営資源再活用の内容

(1) 経営資源再活用に係る事業の内容

① 承継する事業

株式会社学生援護会が営む雇用情報事業

② 選定理由

パート・アルバイト・派遣等の非正規社員の増加を中心とする人材の流動化が進む中で、学生援護会は特にアルバイトの求人広告市場で強い

ブランド力と全国的な営業ネットワークを持つ一方で、経営戦略・グループ戦略の強化により、収益性の改善余地があることから、当該事業を承継することとした。

③ 経営資源有効活用の方策

C J H 5社及びI E社は、雇用情報事業を中核として営む学生援護会と合併し、更なる一体化を図ることにより経営資源を有効に活用する。

(既存事業の収益力向上)

学生援護会の有するブランド力を再活用し、顧客ニーズに適した商品戦略の展開、給与体系・インセンティブ設計等の人事制度の見直し、及び全社的なグループ戦略の見直しを実施することで、全社的な営業力の底上げを目指し、既存事業の収益力を強化する。

(経営体制の強化)

組織再編を中心としたグループ戦略の見直しにより、指揮系統、責任体制を明確にした上で、カーライルから役員を派遣して経営体制の強化を図る。具体的には、カーライルから学生援護会へ非常勤役員を数名派遣し、①事業戦略の立て直し、②経営執行体制の整備、③財務マネジメントの強化等を実施する。

(事業革新)

株式会社学生援護会においては、今後成長が見込まれる非常用雇用者をターゲットとしたweb・モバイル媒体を活用した求人広告事業を強化していく。具体的には平成18年4月を目処に既存中核事業たる「情報誌」との連携を強化し、上記顧客層のニーズを踏まえた新商品・サービスを立ち上げ、当該商品の広告売上を向上させ、最終的には平成19年度の全売上高の3.3%とすることを目標とする。

(2) 経営資源再活用を行う場所の住所

① 株式会社学生援護会

本社所在地 東京都新宿区市谷田町一丁目18番

② カーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社

本社所在地 東京都千代田区大手町一丁目5番1号

③ 井上エンタープライズ株式会社

本社所在地 東京都新宿区西落合三丁目15番12号

(3) 経営資源再活用を実施するための措置の内容

別表のとおり

(4) 経営資源再活用の開始時期及び終了時期

① 開始時期 平成17年9月

② 終了時期 平成20年3月

(5) 経営資源再活用に伴う労務に関する事項

① 経営資源再活用開始時期の従業員数

株式会社学生援護会	150名
カーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社	0名
井上エンタープライズ株式会社	0名

② 経営資源再活用終了時期の従業員数

株式会社学生援護会	159名
-----------	------

③ 再活用に充てる予定の従業員数

株式会社学生援護会	150名
カーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社	0名
井上エンタープライズ株式会社	0名

④ ③中、新規採用される従業員数

株式会社学生援護会	50名
カーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社	0名
井上エンタープライズ株式会社	0名

⑤ 経営資源再活用に伴い出向または解雇される従業員数

出向予定人数	2名
解雇予定人数	0名

## 別表 1

### 1. 経営資源再活用の方置の内容

措置事項	実施する措置の内容及びその実施する時期	期待する支援措置
他の事業者からの事業の承継		
その他 (経営資源再活用のための他の会社の株式の取得)	<p>カーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社による井上エンタープライズ株式会社株式の取得</p> <p>被取得会社：井上エンタープライズ株式会社 住所：東京都新宿区西落合三丁目15番12号 代表者氏名：井上 早苗 資本金：10百万円 取得株式総数：200株</p> <p>実施時期：平成17年9月30日 (予定)</p>	
その他 (経営資源再活用のための他の会社の株式の取得)	<p>井上エンタープライズ株式会社による株式会社学生援護会株式の取得</p> <p>被取得会社：株式会社学生援護会 住所：東京都新宿区市谷田町一丁目18番 代表者氏名：赤嶺 紀彦 資本金：16億4,951万2,500円 取得株式総数：1,351万8,750株 (予定)</p> <p>実施時期：平成17年9月30日 (予定)</p>	
合併 (経営資源再活用のための合併)	井上エンタープライズ株式会社を存続会社とし、カーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社を消滅会社とする合併	租税特別措置法第80条の2 (認定事業再構築計画等に基づき行う登記の税率の軽減)

	<p>存続会社：井上エンタープライズ株式会社 住所：東京都東京都新宿区西落合三丁目15番12号 代表者氏名：井上 早苗 資本金：85百万円（合併前）</p> <p>消滅会社：カーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社 住所：東京都千代田区大手町一丁目5番1号 代表者氏名：安達 保 資本金：3,852百万円</p> <p>合併後の会社：井上エンタープライズ株式会社 住所：東京都新宿区西落合三丁目15番12号 代表者氏名：井上 早苗 資本金：3,952百万円（予定）</p> <p>実施時期：平成17年11月（予定）</p> <p>合併比率に関して、消滅会社は存続会社の唯一の株主であるため、消滅会社の株主に対しては、その持株比率に応じて存続会社の株式を割り当てることとする。</p>	
<p>その他 （経営資源再活用のための株式交換）</p>	<p>井上エンタープライズ株式会社を完全親会社とし、株式会社学生援護会を完全子会社とする株式の交換</p> <p><b>【完全親会社となる会社】</b> 会社名：井上エンタープライズ株式会社 住所：東京都新宿区西落合三</p>	<p>法第12条の4 （簡易株式交換に関する特例）</p> <p>法第12条の9 （合併等に際して</p>

	<p>丁目15番12号          代表者氏名：井上 早苗          資本金：3,952百万円（予定）</p> <p><b>【完全子会社となる会社】</b>          会社名：株式会社学生援護会          住所：東京都新宿区市谷田町一丁目18番          代表者氏名：赤嶺 紀彦          資本金：16億4,951万2,500円          実施時期：平成17年11月（予定）</p> <p>なお、株式交換に際しては、株式会社学生援護会株式保有株主へ現金を交付することとし、一株あたりの交付金の額については第三者機関により算定中。</p>	<p>する特定金銭等の交付に関する特例)</p>
<p>合併          （経営資源再活用のための合併）</p>	<p>株式会社学生援護会を存続会社とし、井上エンタープライズ株式会社を消滅会社とする合併</p> <p>存続会社：株式会社学生援護会          住所：東京都新宿区市谷田町一丁目18番          代表者氏名：赤嶺 紀彦          資本金：16億4,951万2,500円</p> <p>消滅会社：井上エンタープライズ株式会社          住所：東京都新宿区西落合三丁目15番12号          代表者氏名：井上 早苗          資本金：3,952百万円（予定）</p> <p>合併後の会社：株式会社学生援護会          住所：東京都新宿区市谷田町</p>	<p>租税特別措置法第80条の2（認定事業再構築計画等に基づき行う登記の税率の軽減）</p>

一丁目18番

代表者氏名：赤嶺 紀彦

資本金：16億4,951万2,500円  
(予定)

実施時期：平成18年1月(予定)

合併比率に関して、消滅会社は存続会社の唯一の株主であるため、消滅会社の株主に対しては、その持株比率に応じて存続会社の株式を割り当てることとする。

2. 任意的記載事項の内容

措置事項	実施する措置の内容及びその実施する時期	期待する支援措置
資本の相当程度の増加	<p>カーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社の増資</p> <p>現在の資本金：10百万円                      増加する資本金：3,842百万円                      増資方法：カーライル ジャパン パートナーズ・エル・ピーとシージェイピー・コ・インベストメント・エル・ピー及び学生援護会経営陣に対する新株発行（予定）</p> <p>実施時期：平成17年9月29日（予定）</p>	<p>租税特別措置法第80条の2（認定事業再構築計画等に基づき行う登記の税率の軽減）</p>
資本の相当程度の増加	<p>井上エンタープライズ株式会社の増資</p> <p>現在の資本金：10百万円                      増加する資本金：75百万円                      増資方法：カーライル・ジャパン・ホールディングス・ファイブ株式会社に対する新株発行（予定）</p> <p>実施時期：平成17年11月（予定）</p>	

事業革新

株式会社学生援護会においては、今後成長が見込まれる非常用雇用者をターゲットとしたweb・モバイル媒体を活用した求人広告事業を強化していく。具体的には平成18年4月を目処に既存中核事業たる「情報誌」との連携を強化し、上記顧客層のニーズを踏まえた新商品・サービスを立ち上げ、当該商品の広告売上を向上させ、最終的には平成19年度の全売上高の3.3%とすることを目標とする。